

令和2年度 射水市公募提案型市民協働事業 事業評価結果

№	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	課題解決	協働の効果・事業の効果	事業の実現性・実施能力	先駆性・独自性	自立性・持続性	
1	射水丘陵における希少生物(絶滅危惧種)・地域在来生物の保存に関する事業	667千円	環境課	a	a	a	a	a	A
	NPO法人 自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会	(2,009千円)	平成30年度(3年目)						
2	「We Love 右門」ー生誕300年の記念すべき年にー	450千円	地域振興・文化課	a	a	a	a	a	A
	小杉まちづくり協議会	(705千円)	令和元年度(2年目)						
3	若い世代が活動して育てる田舎ー射水南部丘陵(里山)魅力発信ー	720千円	農林水産課	a	a	a	b	a	A
	一般社団法人 金山里山の会	(973千円)	令和2年度(1年目)						

令和2年度 射水市地域振興会地域提案型市民協働事業 事業評価結果

№	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	地域振興会名	(総事業費)	開始年度(年数)	課題解決	協働の効果・事業の効果	事業の実現性・実施能力	先駆性・独自性	自立性・持続性	
1	黒河地区竹林環境整備事業	155千円	平成30年度(3年目)	a	a	a	a	b	A
	黒河地域振興会	(310千円)							
2	児童・地域住民で作る多目的芝生広場	109千円	令和元年度(2年目)	a	a	a	b	a	A
	堀岡地域振興会	(164千円)							
3	小杉地区の母なる下条川の魅力向上作戦	200千円	令和元年度(2年目)	a	a	a	a	b	A
	戸破地域振興会	(301千円)							

令和2年度 射水市公募提案型市民協働事業 事業実施結果

№	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	課題解決	協働の効果・事業の効果	事業の実現性・実施能力	先駆性・独自性	自立性・持続性	
1	射水丘陵における希少生物(絶滅危惧種)・地域在来生物の保存に関する事業	667千円	環境課	a	a	a	a	a	A
	NPO法人 自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会	(2,009千円)	平成30年度(3年目)						
事業期間				令和2年4月1日～令和3年3月31日					
参考 イベント等を開催した場合は、開催日				富山県立大学学生自然観察(10/20) 里山体験エコツアー(10/31)					
参考 イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				53人					
事業概要				担当課としての所感					
里山地域の多い射水市において、生物多様性・生態系の理念を啓発し、希少動植物・地域在来動植物の保存を図るとともに、里山の生物多様性の衰退を防ぎ、地域の活性化を図るため、生物多様性保存型里山ビオトープの造成や里山ビオトープを活用した市民等への啓発活動を行う。				里山の生物多様性・生態系を維持するためビオトープを造成し、そこで絶滅危惧種の自然産卵が確認されるなどの成果があった。また、大学生や親子に里山体験会を開催し、自然観察や植樹などを行い自然保護の啓発活動も実施している。3年間の事業で設置したビオトープや遊歩道などの各施設を活用し、今後も自然保護や生物多様性の理念の普及を推進させる活動が期待される。					
									

№	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	課題解決	協働の効果・事業の効果	事業の実現性・実施能力	先駆性・独自性	自立性・持続性	
2	「We Love 右門」-生誕300年の記念すべき年に-	450千円	地域振興・文化課	a	a	a	a	a	A
	小杉まちづくり協議会	(705千円)	令和元年度(2年目)						
事業期間				令和2年6月10日～令和3年3月31日					
参考 イベント等を開催した場合は、開催日				文化フォーラム8月23日、市民演劇2月7日					
参考 イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				各350人					
事業概要				担当課としての所感					
歴史にスポットを当てたまちづくりとして、日本史上で輝く業績を残した藤井右門の人物像を取り上げた紙芝居や舞台劇の制作・上演を行うことで、市民とふるさとの偉人の情報を共有し、コミュニティの強化に寄与する。				若い世代とともに市民と協働しながら事業を進めている。 8月には文化フォーラムを開催し、学術的な研究の裏付けをもとにした内容で、多くの市民に地域の偉人について理解を広める努力をしており大変素晴らしい。 2月には市民演劇「右門」を披露することで、高校生を中心とした若者や市民に参加してもらうことで郷土愛を育み人材育成に貢献している点を評価したい。					





№	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	課題解決	協働の効果・事業の効果	事業の実現性・実施能力	先駆性・独自性	自立性・持続性	
3	若い世代が活動して育てる田舎～射水南部丘陵(里山)魅力発信～	720千円	農林水産課	a	a	a	b	a	A
	一般社団法人 金山里山の会	(973千円)	令和2年度(1年目)						
事業期間				令和2年4月1日～令和3年3月31日					
参考 イベント等を開催した場合は、開催日				苗木の植樹イベント7月11日、体験交流会10月24日					
参考 イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				51人					
事業概要				担当課としての所感					
射水南部丘陵の里山は荒廃が進んでいるため、森林や林道の整備やワークショップ、里山体験交流会、地域資源を見える化した航空写真等の作成を通して里山の利活用を図り、交流人口の増加や持続可能な里山整備を目指す。				コロナ禍の中、事業等の開催に制限があったが、適切に対応された。担当課との報連相を細やかに行い、事業を推進したことが評価できる。					





令和2年度 射水市地域提案型市民協働事業 事業実施結果

№	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		課題解決	協働の効果・事業の効果	事業の実現性・実施能力	先駆性・独自性	自立性・持続性	
1	黒河地区竹林環境整備事業	155千円	平成30年度(3年目)	a	a	a	a	b	A
	黒河地域振興会	(310千円)							
事業期間				令和2年5月1日～令和2年9月18日					
参考 イベント等を開催した場合は、開催日									
参考 イベント等を開催した場合は、延べ参加者数									
事業概要				担当課としての所感					
竹林地の荒廃が懸念されている中、遊歩道の設置をはじめとした環境整備に地域全体で取り組み、竹林を活用した地域住民交流の場づくりを行い、地域の活性化を推進していく。 また、竹林管理の後継者育成にもつなげていく。				地域住民が竹林地の遊歩道の整備を行い、今後遊歩道を活用した地域の賑わいが期待できると思われる。 今年度で補助事業は終了となるが、継続的に遊歩道の管理していくためにも、竹林管理の後継者の育成や、イベント等の実施に活用するなど、地域ぐるみで管理していくような事業展開を求めたい。					



№	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		課題解決	協働の効果・事業の効果	事業の実現性・実施能力	先駆性・独自性	自立性・持続性	
2	児童・地域住民で作る多目的芝生広場	109千円	令和元年度(2年目)	a	a	a	b	a	A
	堀岡地域振興会	(164千円)							
事業期間				令和2年4月1日～令和3年3月31日					
参考 イベント等を開催した場合は、開催日									
参考 イベント等を開催した場合は、延べ参加者数									
事業概要				担当課としての所感					
地域の力を生かした子育ての場、住民交流の場とするため、住民参加の植え込み作業等を行い、堀岡コミュニティセンター敷地内に多目的芝生広場を造成する。				地域住民が集まって芝生の植え付け作業を行うなど、整備が進められていた。今年度で事業は終了となるが、屋外事業への活用など、地域住民の交流の場・憩いの場として定着するよう芝生を継続して管理できるような体制づくりを求めたい。					



No	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	課題解決	協働の効果・事業の効果	事業の実現性・実施能力	先駆性・独自性	自立性・持続性	
3	小杉地区の母なる下条川の魅力向上作戦	200千円		a	a	a	a	b	A
	戸破地域振興会	(301千円)	令和元年度(2年目)						
事業期間				令和2年4月1日～令和2年12月20日					
参考 イベント等を開催した場合は、開催日				スイセン植栽日:令和2年10月31日					
参考 イベント等を開催した場合は、延べ参加者数				約70人					
事業概要				担当課としての所感					
地域住民が母なる下条川を大切にすることを養い、下条川沿いの更なる魅力向上を図るため、桜の開花時期に合わせて花が咲くよう、下条川の土手沿いにスイセンの植え込みと清掃活動を行う。				昨年度に引き続き、地域住民が参加してスイセンの植え付け作業を実施し、地域ぐるみでの整備が進められている。今年度も計画のとおり桜が咲く時期に合わせて開花し、地域の魅力向上につながった。 今後も継続的に管理することができるようにするためにも、資金面については協賛を募るなど、工夫を求めたい。					



令和2年度 公募提案型市民協働事業
評価シート【提案団体用】

事業名			
団体名		担当課名	
補助金交付額(実績)	千円	補助事業 開始年度	
総事業費(実績)	千円		

評価項目	評価ポイント	評価
課題解決	地域課題や市民ニーズを捉えた事業となっていたか。	
	公益的・社会貢献的な事業となっていたか。	
協働の効果 事業の効果	協働事業として実施することによる相乗効果はあったか。	
	市が実施するより、効果的又は効率的であったか。	
	事業を実施したことによる、具体的な効果や成果がみられたか。	
	事業対象者の満足度は高かったか。	
事業の実現性・ 実施能力	計画どおりに事業を実施することができたか。	
	団体の持つ専門的な知識や経験が、事業に生かされたか。	
	事業計画書に掲げた目標を達成することができたか。	
	予算の執行状況は適正であったか。	
先駆性・独自性	新しい視点や発想を取り入れた事業となっていたか。	
	独自の工夫やアイデアが盛り込まれた事業となっていたか。	
自立性・持続性	自己努力による資金確保や自立的な発展が見込めるか。	
	事業の継続性を期待できるか。又は、事業効果の持続性が期待できるか。	

評価 結果	項目別 評価	課題解決	協働・事業の 効果	実現性・実施 能力	先駆性・独自 性	自立性・持続 性	総合 評価	

評価方法	評価ポイント	該当する場合は「○」、該当しない場合は「×」として評価する。	
	項目別評価 (~)	評価ポイントのうち、4分の3以上が「○」である。	a
		評価ポイントのうち、半数が「○」である。	b
		評価ポイントのうち、「○」が半数に満たない。	c
	総合評価	項目別評価のすべてが「b」評価以上で、「a」評価が4つ以上ある。	A
		項目別評価のすべてが「b」評価以上である。	B
		項目別評価に「c」評価が含まれている。	C

イベント等を開催した場合は実施日	
イベント等を開催した場合は延べ参加者数	

特記事項(特に工夫した点やアピールしたい成果、反省点等を自由に記載してください。)

評価結果について

事業開始年度が令和元年度(事業2年目)又は令和2年度(事業1年目)の事業について、総合評価がB又はCである場合は、「事業改善計画書」を提出していただきます。また、総合評価がCとなった場合や「自立性・持続性」の評価項目に1つでも「×」評価がある場合は、団体及び市が協議の上、事業の廃止も含めた抜本的な見直しを行うこととします。

**令和2年度 公募提案型市民協働事業
評価シート【担当課用】**

事業名			
団体名		担当課名	
補助金交付額(実績)	千円	補助事業 開始年度	令和2年度(1年目)
総事業費(実績)	千円		

評価項目	評価ポイント	評価
課題解決	地域課題や市民ニーズを捉えた事業となっていたか。	
	公益的・社会貢献的な事業となっていたか。	
協働の効果 事業の効果	協働事業として実施することによる相乗効果はあったか。	
	市が実施するより、効果的又は効率的であったか。	
	事業を実施したことによる、具体的な効果や成果がみられたか。	
	事業対象者の満足度は高かったか。	
事業の実現性・ 実施能力	計画どおりに事業を実施することができたか。	
	団体の持つ専門的な知識や経験が、事業に生かされたか。	
	事業計画書に掲げた目標を達成することができたか。	
	予算の執行状況は適正であったか。	
先駆性・独自性	新しい視点や発想を取り入れた事業となっていたか。	
	独自の工夫やアイデアが盛り込まれた事業となっていたか。	
自立性・持続性	自己努力による資金確保や自立的な発展が見込めるか。	
	事業の継続性を期待できるか。又は、事業効果の持続性が期待できるか。	

評価 結果	項目別 評価	課題解決	協働・事業の 効果	実現性・実施 能力	先駆性・独自 性	自立性・持続 性	総合 評価	

評価方法	評価ポイント	該当する場合は「○」、該当しない場合は「×」として評価する。						
	項目別評価 (~)	評価ポイントのうち、4分の3以上が「○」である。						a
		評価ポイントのうち、半数が「○」である。						b
		評価ポイントのうち、「○」が半数に満たない。						c
	総合評価	項目別評価のすべてが「b」評価以上で、「a」評価が4つ以上ある。						A
		項目別評価のすべてが「b」評価以上である。						B
		項目別評価に「c」評価が含まれている。						C

担当課としての所感 (事業効果の具体的な内容や、特に評価すべき点、改善を求める点等を記載してください。)

担当課としての今後の対応 (次年度以降の協働体制や、補助終了後の対応について記載してください。)

評価結果について

事業開始年度が令和元年度(事業2年目)又は令和2年度(事業1年目)の事業について、総合評価がB又はCである場合は、「事業改善計画書」を提出していただきます。また、総合評価がCとなった場合や「自立性・持続性」の評価項目に1つでも「×」評価がある場合は、団体及び市が協議の上、事業の廃止も含めた抜本的な見直しを行うこととします。